

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「運営理念」を玄関、各フロアの目に付きやすい所に掲示している。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全体にまで共有できているかは不明。	○ 職員入職時には十分説明し、確実に伝える。又、会議やミーティングなどで再徹底する。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	「運営理念」はご家族の方、外来者にも目に付きやすい所に掲示している。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	花壇をお手入れして下さる近隣の方と挨拶を交わし、行事等の際にお越し頂いている。	○ 入居者の方と散歩などで外出する時、もう少し挨拶出来る様に努めたい。まだ声を掛ける方が少数に限られている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	上記の方やごく限られた方のみ挨拶を交わしている。	○ 町会とお付き合いが広がっていない。広報や行事の案内をもっと積極的に配布したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>スタッフ会議（定例会議）などで時々話し合っている。</p>	<p>○</p> <p>地域とどのように関わるか、今一度話し合う機会を作り、意見を出し合う。又、地域包括センターからも情報を得る。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>最近入職した職員も多く、まだ十分理解できている状態ではない。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>議事録を回覧し、意見を出している。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所の高齢介護課（主に）を事情に応じて訪問し、相談など行っている。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>社協が行う研修会などに管理者が時々参加しているが、他の職員が参加できていない。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>社協が行う研修会などに管理者が時々参加しているが、他の職員が参加できていない。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明は出来る限り時間をかけて行っている。	
13	運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	まだ整備できていない部分がおおく、業務の中で本人より直接伺っている。	○ 伝達方法について新しい方法を検討している。
14	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族への請求書発送時に同封したり(「ご家族様への手紙」)、訪問時に直接お伝えしている。	
15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「運営推進会議」にてご家族代表の方の意見を聞いたりしているが、まだ整備すべき点がかかなりある。	○ 伝達方法について新しい方法を検討している。
16	運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の「定例会議(常勤)」を中心とし、必要に応じて、非常勤(パート)も含めた会議を行っている。	
17	柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて、随時行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動が多いと、入居者への影響も大きくなると思われる、最小限にとどめている。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は、県社協による研修会などに参加している。</p>	○
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>尼崎市の「グループホーム連絡会」による討論会、役員会、勉強会などに職員(管理者含む)が参加している。</p>	○ 管理者、ケアマネージャー以外の参加がまだ少ないので、今後は更に参加者を増やす。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>概ね月1回、社長と管理者(施設長、ケアマネ)による会議を行い、検討している。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>概ね月1回、社長と管理者(施設長、ケアマネ)による会議を行い、検討している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	各居室に「居室担当者（スタッフ）」を定め、入居者に対応している。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	面会時は出来るだけ管理者、ケアマネをはじめ常勤スタッフが個別に対応している。	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	「他のサービス」については検討の余地ありである。	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	ご家族の方との話し合いを重視した上でサービス計画を立てている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	日中は出来るだけスタッフが入居者と会話する時間が取れるように努めている。レクの強制は行わない。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族との話し合いの上で入居者への対応を考えている。衣替えは基本的に、スタッフとご家族、入居者で行う。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族の方に「入居前の生活」について聞く際、苦労したことなども受容の姿勢で聞いている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>かつての町内会（入居者の）の方々にも気軽に訪問して頂く様に努めている。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>スタッフ間で問題点を随時出し合い、会議や申し送りの際に報告し、対策を考えている。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>必要に応じて連絡する体制にしている。退所者のご家族より、葬儀の連絡などもあり、スタッフも参列している。又、入居希望者の紹介などもある。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	居室担当者だけでなく、スタッフ全員で意見を出し、ご家族によるアドバイスを基に行っている。	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	生活歴を重視した環境作りに努めているが、入居者が過去に行えた能力の活用について更に検討する余地がある。	個々の残存能力を最大限活用出来る様に支援を進める。レクの中でもそれを取り入れる。
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	個別記録（日誌の過去分を含む）をスタッフが見やすい場所に置き、閲覧し易くしている。	閲覧するだけでなく、もっと会議などにつなげていける体制を作る。記録についても整理し、必要な内容が分り易い様にする。
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	気付いた点は「スタッフノート」に記入し、対策につなげている。	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	見直しは、管理者、ケアマネ、居室担当者をはじめ各スタッフ（パートを含む）およびご家族からの聞き取りなどで十分話し合っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付いた点は「個別記録」や「スタッフノート」に記入し、対策につなげている。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	親会社（介護用品レンタル・販売）が取り扱う介護用品を中心に活用している。		
<b>4.より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会や民生委員とお話する機会が取れていないのが現状である。月2,3回訪問に来られる介護相談員から情報を得る事も有る。		町内会、民生委員と再度お話をする機会を作っていく。市内にある「ボランティアセンター」の活用も考える。
41 他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	時間の確保が出来ておらず、まだ十分進んでいない状態である。		「グループホーム連絡会」などの情報を基に対策を考える。
42 地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	隔月毎の「運営推進会議」に地域包括の方が来られるので、相談を行っている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入所前から通院されていた病院や医院に引き続き通っておられる方もある。	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	時間が確保できておらず、検討の余地が大きい。	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	往診に来ている病院の看護師に相談している。	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	主治医を中心に病状や治療の方針や退院の時期について話し合ったり、連絡をとっている。	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居者個々については話し合いを行っているが、今後は文章化を進める必要がある。	地域包括や他施設とも相談、指導をして頂きながら早急に進める。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	入居者個々については話し合いを行っているが、今後は文章化を進める必要がある。	主治医など医療と相談しながら、新しいシステム作りを行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の 居所へ移り住む際、家族及び本人に関わる ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住み替えによるダメージを防ぐこ とに努めている	管理者、ケアマネおよび居室担当スタッフがご家 族と話し合いを進めている。		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	入居者の個人情報漏洩しない様に注意してい る。広報などに掲載する写真などについてご家 族やご本人の許可もとに行っている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働き かけたり、わかる力に合わせた説明を行 い、自分で決めたり納得しながら暮らせる ように支援をしている	説明は十分時間をかけて行っている。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	出来る限り入居者個々に応じた対応を行って いる。レクの時間などは強制していない。		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	理容・美容に関しては現在ボランティアの方 に来て頂いて行っているが、外部での利用も自由 である。外出レクの際は、各居室担当スタッ フが「その人らしいおしゃれ」を考慮し、入 居者と相談の上で前もって準備している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>医療（主治医）と相談しながら行っている。喫煙は所定の場所でスタッフが付きながらして頂いている。危険防止のためタバコは事務所預かりとしている。</p>	
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個別の「排泄表」を確認しながら、声掛けを行っている。排泄介助が必要な方は、原則として便座に座って頂いた後は、スタッフは入居者の視界に入らない位置に立ち、見守りを行うこととしている。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は原則として隔日で行っている（1階と2階が交互に）。入居者の好まれる「お湯の熱さ加減」や「入る順番」を聞いている。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>入居者の「昼夜逆転」に注意しながら、休息して頂いている。希望される方にはマッサージ機を使って頂いている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>最近では外出（買物や散歩）の時間が以前より取れている。近隣のカラオケハウスや喫茶店で寛ぐ時間も増えて来ている。</p>	<p>生活歴を生かした役割や楽しみ方について、今後更に検討する。</p>


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭関係（通帳やカードを含む）は事務所の金庫に保管しているが、入居者が気になられた時は現物をお見せしている。又、本人の能力や事情を考慮して、「小遣い程度」の現金はお持ち頂いているケースもある。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は出来るだけ外出する機会を作っている。身体的、体力的に問題があり、一日の大半を臥床されている方も体調が落ち着いている時は、ホームの前付近を軽く散歩したり、パラソル（庭に設置）で寛いで頂いている。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>最近は大阪の「海遊館」、神戸の「花鳥園」への外出レクを行っている。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望により、時間帯を決めて行っている。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>訪問に関しては、原則として早朝や深夜を除き自由にして頂いている。訪問される方はご家族や少し前に関わっていたケアマネなどがほとんどである。</p>	<p>ご家族以外にも訪問しやすい雰囲気を作りたい。入居者がかつて過ごされた地域の関係者や友人、知人らにも訪問して頂けるように検討する。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>転倒の可能性がある方には「センサーマット」を設置するなどして、抑制は行わないことにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室に関しては、スタッフにより鍵をかけることは行わない。玄関は、建物の構造上スタッフが目につきにくく、又、傍に交通量の多い幹線道路があるため、やむを得ず鍵をかけている。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>転倒の可能性がある方には「センサーマット」を設置するなどしている。徘徊の多い方はスタッフが一緒に歩くなどして対応している。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意を必要とする物は、出来るだけスタッフの目の届く所に保管している。ご本人所有の物でハサミや針などはご家族やご本人と相談の上で保管場所を決めている。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>日々の申し送りやミーティング、スタッフノートにより伝達したり、話し合っている。誤薬の防止としては、薬を与える前に必ず他のスタッフにこれから服用して頂く薬を見せた後、入居者には服用前に声を出して薬について2回読み上げてから服用して頂いている。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救急対応や応急処置のマニュアルを各階に設置および掲示している。</p>	<p>救急救命講習を更に多くのスタッフに受講して頂く。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的な消防署の訪問や非難訓練時に指導して頂いている他、福祉関連雑誌の「防災特集」などからも対策を進めている。「ガス漏れ警報機」は各階の台所に設置している。</p>	<p>防災マニュアルの作成を進める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>「グループホーム連絡会」及び各研修会より情報を集めている。</p>	<p>○</p> <p>ご家族への説明、話し合いの場を少しでも多く設ける。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>バイタル測定は1日2回行い、異常が見られる際は測定を追加したり、主治医に連絡している。夜間は主治医の「夜間用電話(携帯)」に連絡する事になっている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬関係の個別ファイルを設けており、必要に応じて各スタッフが利用できるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>各スタッフが利用、理解しやすい様、更に改善を進める。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>「水分補給チェック表」で各入居者についてチェックし、対応している。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>義歯は毎日外して洗浄を行っている。又、ご自身で歯磨きができる方は、行っていただいている。</p>	<p>○</p> <p>スタッフによる口腔ケアをより確実に行っていく。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>定期的に「食事内容についての会議」をパートスタッフも含めて行っている。嚥下などの事情でミキサー食対応の入居者もおられる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>出勤時は必ず手洗いとうがいを行って頂いている。消毒液は、ノロウイルスにも対応した「弱酸性消毒液」を用意し、スタッフ、入居者および外来者に随時使用して頂いている。消毒液は11ヶ所に設置している。</p>	
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>保管の際の温度、湿度等に注意し、賞味期限や消費期限はマジックで大きく記入している。</p>	
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関に椅子を2脚設置し、靴の着脱などに利用している。</p>	
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂に季節感のある飾り、絵画、工作などを設置している。</p>	
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアなど共用スペースにソファや椅子を間隔を空けて設置し、寛いで頂いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>長年親しまれた家具、寝具、電化製品、仏壇などを置かれている。危険を伴う物以外は、原則として持ち込み可能としている。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>全居室と廊下、フロアの数箇所温度計を設置。又、数箇所には湿度計も設置し、スタッフが確認している。換気は原則として毎朝行っている。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下とトイレには手すりを設置している。</p>	<p>○ 細部については検討の余地あり(浴室など)。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>入居者に対しては過度の声掛けは行わず、自主性についても配慮する事に努めている。トイレなどは「表示」を大きくしている。</p>	
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周囲には季節の花を植えているが、ベランダについては一部を除いて活用できていない。</p>	<p>○ ベランダは、避難スペースを確保しながら活用を考える。</p>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

長く空き部屋があったり、スタッフの人数不足が続き、グループホームとして本来の活動ができなかったが、現在はようやく満床となり、スタッフも充足したため、今まで十分に行えなかった「野外活動」、「外出レク」を充実させたい。又、地域との交流についても町内会や民生委員の方々と情報交換をしながら進めて参りたい。「家庭の雰囲気」を今後も継続しながらより地域に密着したグループホームを目指す。